

自動車内装基材用「KP シート」と木材代替用「KP ボード」*1

久保 秀穂*2 佐藤 義廣*3 荒木 豊*4

“KP Sheet” Used as Automobiles’ Interior Parts and “KP Board” as an Alternate for Wood

Hideho Kubo Yoshihiro Satoh Yutaka Araki

1 はじめに

「KP シート」および「KP ボード」は、ガラス繊維 (GF) とポリプロピレン (PP) の複合材料であり、ケーブラシート(株)*5で製造、販売されている。

本稿では、「KP シート」および「KP ボード」の製造方法ならびに主力製品である自動車内装基材用「KP シート」と木材代替材用「KP

ボード」を元厚の 2~4 倍程度の厚みに成形するもので、成形圧力は数 kg/cm² 以下で十分なため型製作コストも低く押さえることができる。

自動車内装部品では、成形品表面に感触や装飾性を向上させるために表皮を貼合するケースが多いが、「KP シート」においては、成形時にこれらの表皮を同時に貼合することも成形工程での大きなメリットである。



Table 2 Performance comparison of various materials used for automobile's interior

Material Property	Moldability	Dimension's consistency	Recycle
-------------------	-------------	-------------------------	---------



- (1) 比重を約 0.2~1.2 の範囲で設計できる。
- (2) 多積層が可能で多様な機能付加ができる。
- (3) 鋸切斷、釘・リベット打ちなどの加工が木と同じ感覚でできる。
- (4) 熱伝導率が低い。